

2013年7月1日 **Vol.33**
<http://www.matsuyama.jrc.or.jp/>

につせき ぬくもり通信

《基本理念》

人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

《基本方針》

- 1 人間としての尊厳を守り、良質で温もりのある医療を提供します。
- 2 安全と安心の医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- 3 地域の医療機関と連携を密にし、質の高い急性期医療・専門医療を実践します。
- 4 災害救護活動ならびに医療社会奉仕に努め、赤十字活動を推進します。
- 5 自己研鑽に努め、次代を担う医療人を育成します。
- 6 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。



皮膚科 乾癬の新しい治療

1 乾癬はどんな病気？

乾癬は慢性的な皮膚の炎症性疾患です。主な症状は、正常部分より少し盛り上がる紅斑で、その表面は銀白色の鱗屑(りんせつ)で覆われます。やがてそれがフケのようにポロポロと落ち、衣類が汚れたりします。出やすい場所は、頭部、肘・膝、下腿(スネ)、爪などで、他人から見える露出部に皮疹が生じることも多く、「人前で手を出せない」「大衆浴場に入れない」など、患者さんのQOL(生活の質)を大きく損なう場合があります。

2 乾癬の原因は？

残念ながらまだわかっていません。しかし、最近の研究で免疫系に異常が生じ炎症が起きていることがわかってきました。体質的な素因に外的・内的因子が加わることで発病すると考えられています。乾癬の患者さんは高脂血症、糖尿病、高血圧などのメタボリック症候群の頻度が高く、心筋梗塞を含む心血管疾患のリスクも高いことが知られています。

3 乾癬の治療は？

乾癬の病型(尋常性乾癬・関節症性乾癬・膿疱性乾癬・乾癬性紅皮症)や重症度によって治療を選択します。外用療法は、ステロイド外用剤とビタミンD3外用剤を主に使用します。軽症の場合は、外用薬のみで治療が可能なことも多いです。外用療法で改善がなければ、内服薬(シクロスポリン・エトレチナート)や光線療法が選択されます。しかし、内服薬の場合は、肝機能障害、腎機能障害、催奇形性などの副作用に注意しないといけません。また、光線療法は、週2回ほどの通院が必要となり、患者さんに大きな負担がかかります。外用、内服、光線療法を組み合わせても満足いく効果が得られない場合は、生物学的製剤の使用を検討します。

4 生物学的製剤による新しい乾癬治療について

生物学的製剤とは、体の免疫機能にかかわるサイトカインの働きを抑える注射薬です。現在、日本で乾癬に対して使用できる生物学的製剤は3種類(インフリキシマブ・アダリムマブ・ウスティヌマブ)あります。従来の治療で十分な効果が得られない場合や、関節症状が強い方、難治性の膿疱性乾癬の患者さんにも高い効果があるといわれています。しかし、生物学的製剤もすべての患者さんに必ず効果があるわけではありません。また、感染症など重篤な副作用が現れることもあり注意が必要です。当院皮膚科では日本皮膚科学会で定められた乾癬における生物学的製剤の治療指針に基づいて診療を行い、患者さんの安全性を確保した上で、適切に使用するように努めています。

皮膚科 部長
南 満 芳

第10回 地域医療連携フォーラムを開催します

今年も地域医療連携フォーラムを下記のとおり開催いたします。

今回は、第10回記念フォーラムとして、『認知症から学ぶ「ひとのこころ」～認知症と向き合い、支え合うために～』をテーマに、東京女子医科大学名誉教授・メディカルクリニック柿の木坂院長の岩田誠先生を迎えての基調講演を予定しております。また、様々な立場から認知症支援の取り組みについてもご紹介することとしております。

どなたでもご参加いただけますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

■ 日 時：平成25年7月14日(日) 13時～15時40分

■ 場 所：ひめぎんホール（サブホール）

■ テーマ：認知症から学ぶ「ひとのこころ」
～認知症と向き合い、支え合うために～

■ 基調講演：東京女子医科大学名誉教授・メディカルクリニック柿の木坂院長 岩田 誠 先生

■ 参加対象：地域住民のみならず ※入場無料、事前申込不要



▲ 第9回フォーラム（平成24年度）

フォーラム会場ロビーにて、

100周年パネル展示
100th Anniversary を開催します!

松山赤十字病院と松山赤十字看護専門学校は、本年4月1日に創立100周年を迎えました。1913年の開設当時からこれまでの歴史を振り返る写真等の展示を行いますので、ぜひ足をお運びください。



院内七夕祭りを開催します



今年も、ゆうかり会による笹竹の飾り付けや、学生自治会による歌やダンス・寸劇の出し物、ヨーヨー釣りなどの催し物を企画しております。学生は七夕気分を盛り上げるために張り切って練習しております。

おりひめ・ひこぼしに願いを託して、楽しいひと時を過ごしていられませんか？

▲ 昨年の模様

日時 平成25年7月13日(土)13時30分～15時 場所 病院薬局前ロビー

参加対象 患者さんとご家族他、どなたでもOKです。*参加無料

「ふれあい看護体験」を開催しました

1 日 看護 体 験



5月16日(木)、「ふれあい看護体験」を開催し、中学生から一般の方まで30名が参加されました。血圧測定や食事介助の見学、AEDの使い方や災害時にスカーフ2枚で作るリュックの作り方などを実際に体験し、戸惑いながらも楽しそうに取り組んでいました。また、検査室や薬局など普段は見ることのできない病院の裏側を見学して、「医師と看護師以外にも、色々な仕事をしている人がいるんですね。」と新しい発見もあったようです。

毎年行っているふれあい看護体験ですが、看護の心や赤十字活動を知ってもらうために、今後もたくさんの方にご参加いただきたいと思います。

患者の皆様の権利

私たちは、患者の皆様の権利を尊重した医療の提供に努めます。

1. 人権を尊重される権利

一人の人間として、その人格、価値観などを尊重される権利があります。

2. プライバシーを保護される権利

院内でのプライバシーが守られる権利、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。

3. 公平で最善の医療を受ける権利

良質な医療を公平に受ける権利があります。

4. 医療に関して知る権利

診療に関して、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。また診療に関する情報について聞かない権利もあります。ご自分の診療記録(カルテ)の開示を求める権利があります。

5. 医療行為について選択し決定する権利

十分な説明と情報を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で選択、または拒否する権利があります。この病院以外での診療を希望する権利、他施設の医師の意見を聞く権利があります。(セカンドオピニオン)

当院携帯サイトをご覧ください

右のQRコード(二次元バーコード)を取り込むことにより、当院携帯サイトにアクセスできます。
●アクセス ●外来診療のご案内 ●救急のご案内
●お見舞いのご案内 ●職員募集情報



松山赤十字病院公式 Facebook ページを公開中!

ぜひ「いいね!」をよろしくお願いします。

松山赤十字病院 フェイスブック

検索

